演習Ⅱ

担当者 閻　和平

開講時期 通年　　**単　位** 8

●講義の概要

修論テーマの探索並びに決定、修士論文作成に必要な文献研究、実地調査ノウハウ、論文文章作成などに必要な個別指導を行う。

●講義の到達目標

修士論文の提出を最終目標に、受講生が研究テーマを研鑽していく。研究者としての素養を修士論文作成の中で具現化していく。

●講義計画

具体的な講義日程については、受講生と相談の上、決定する。

大凡に前半では、資料、文献を如何に批判的観点から読み解くかを実践的に指導していく。

中間報告会をめどに、修士論文の骨格固めをしていく。

後半では、中間報告会の指摘を踏まえ、意見の独自性、明確化、それを裏付ける根拠、さらに文章表現の精緻を留意しながら学術レベルの高い修士論文を完成させていく。

●成績評価基準と方法

課題提出、発表、修士論文の完成度を総合的に評価

①修論題目決定（５月）５％
②先行文献研究レポート（６月）５％
③修論構成案（７月）５％
④中間発表会PPT（８月）５％
⑤中間発表会口頭発表（10月）15%
⑥第1回修論原稿提出（11月）５％
⑦第2回修論原稿提出（12月）５％
⑧第3回修論原稿提出（12月）５％
⑨修論完成度・口頭試問（１月）50%

●テキスト又は参考文献

なし。

●受講上の留意点

大学院生としての自覚、プライドをもって、修士論文に取り組んでいく。